

ACEF

ニュースレター

2026年8月②

今後のスケジュール

10月3日（土）午後 尊厳ファシリテーター講座Ⅴ

10月10日（土）午後 ACEF秋のセミナー

10月17日（土）～18日（日）Global Festa Japan 2026

もくじ

- ・【巻頭言】ACEFのスタディツアーと今の私（2016年度参加、福田悠夏さん）
- ・【活動報告】
2026年度夏のバングラデシュスタディツアーが無事終了しました
- ・【コラム】「学校へ行くこと」と「学び続けること」～BDPインタビューから見たバングラデシュの教育現場～
- ・【今後の計画・予定】
 - ① 9月3日（木）第2回ボランティアデー開催のお知らせ
 - ② 10月3日（土）尊厳ファシリテーター養成講座Ⅴ
 - ③ 10月10日（土）ACEF秋のセミナー
- ・【ACEF事務局からのお知らせ】
 - ① 8月の事務局在室状況
 - ② 2026年度夏期募金のお願い

<巻頭言> ACEFのスタディツアーと今の私（2016年度参加、福田悠夏さん）

「BDP小学校訪問では、言葉が十分に通じなくても子どもたちと一緒に遊んだり交流する経験から、言語や国籍が違って人と人とはつながることができるということを身をもって体験しました。この経験は、異なる価値観や背景を持つ人に対して興味を持ち、まずは理解しようとする姿勢につながっていると思います。一方で、貧困や教育環境など、日本ではなかなか目にすることのない現実実際に触れるという経験が、高校生だった私にとっては衝撃的な経験で、「今の自分に何ができるのだろう」と考えさせられたことをよく覚えています。すぐに答えが見つかったわけではないし、今も正直分からないけれど、世界にはさまざまな環境で生きる人がいることを認識し、常に心のどこかに置いておく、今の自分ができる小さいことでもいいから何でもやるということをずっと意識しています。こうした経験は、現在の自分の仕事や働き方にも大きな影響を与えています。

現在、社内の人事としてインドやフィリピン等の異国からの入社する人の研修などの支援をしています。比較的に異なる文化や価値観を持つ人と関わることへの抵抗が少なくなり、多様性を前向きに受け入れる姿勢につながっています。また、自分の当たり前を疑い、相手の立場や背景を理解しようとする考え方は、仕事や日常生活の中でも活かされていると感じます。バングラデシュでの2週間は、楽しい思い出であると同時に、自分の世界を広げてくれた大切な経験です。あの時に出会った人々や経験したことは、今でも私の考え方の土台の一部になっています。」（2016年度参加、福田悠夏さん）



<活動報告>

2026年度夏のバングラデシュスタディーツアーが無事終了しました

今年のスタディーツアーでは16名の参加者が2グループに分かれてBDPスクールなどを訪問しました。グループ1は、ACEF評議員で今回ツアーリーダーの山口旬さんとともにジャマルプールへ。グループ2は、柳原さつき事務局長とともにネトロナヘ。途中、1名体調不良者が出ましたが、大事に至ることなく、全員一緒に帰国することができました。皆さまのお祈りと応援感謝いたします。今年も10月10日（土）に開催予定のACEF秋のセミナーにてスタディーツアーの報告をいたします。ぜひお話を聞きにきていただければ嬉しいです。



「学校へ行くこと」と「学び続けること」－BDPインタビューから見たバングラデシュの教育現場－

（前号からつづき）「しかし、進学へ後押しする要因があったとしても、進学を難しくする要因があることも同時にわかった。まず、公立高校の数が限られているということである。公立学校は、政府からの支援にアクセスしやすく、学費が私立と比べて安いというメリットがある。しかし、公立高校の母数が少ないことにより、競争率が高い。学校数が少ないことで通学距離が長くなってしまいう問題点もある。特に女子生徒はセクシャルハラスメントなど通学中の安全面への懸念から、進学を心配する親もいるという話があった。また、経済面での問題も大きい。奨学金制度や、学費無償制度を利用したとしても、生徒は制服代や文房具代、試験料や交通費を支払う必要がある。約80%が中等教育へ進学できるものの、貧困によって学びを継続できないケースが多いということが分かった。

今回のインタビューを通して、私は事前調査だけでは見えてこなかった現場の姿を知ることができた。当初は、伝統的なジェンダー規範や保護者の意識が教育の大きな障壁になっていると考えていた。しかし実際には、多くの保護者が子どもにより高い教育を受けてほしいと願っていることが印象的だった。一方で、その思いだけでは教育を継続することは難しい。中等教育段階では、学費以外にも教科書代や交通費など様々な負担が生じる。また、学校までの距離や安全面の問題もある。今回のインタビューを通して、「学校へ入ること」と「学び続けること」は異なる課題であることに気づかされた。

BDPでは、地域の女性を教師として育成したり、中等教育段階の生徒への支援を行ったりしている。こうした取り組みは、子どもたちが教育へアクセスするだけでなく、その後も学びを継続するための支えになっているのではないだろうか。今回の活動を通して、教育支援とは学校へ行く機会をつくることだけでなく、学び続けられる環境を支えることでもあるのだと感じた。（ICU2年、小林泉さん）



<今後の計画・予定>

① 9月3日（木）第2回ボランティアデー開催のお知らせ

香り豊かなベンガルティーの袋詰め作業や、バングラデシュから持ち帰ったハンディクラフトの値札シール貼り作業等を行います！どなたでも参加できる簡単な手作業です。美味しいお茶を飲みながら、バングラデシュのことやスタジアムの思い出話など会話を楽しみながら、ボランティアをしませんか？会員の皆さまや日頃ACEF活動に関わってくださっている方はもちろん、これまでACEF活動に参加したことない方でも興味があれば大歓迎です！短時間でもボランティアに来ていただくと大変ありがたいです。お一人での参加もお友達との参加もOK♪ 皆さまのご参加を心よりお待ちしております！ご不明点等ありましたらメール・お電話にてご連絡ください。

- 日時：2026年9月3日（木）10:00～16:00（入退室自由）
- 定員：6名（先着順）
- 場所：ACEF事務所（東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館26号室）
- 持ち物：特になし
- 参加申込み：①Googleフォーム、②メール、③電話にて受け付けています。



①https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfMnR1fnlLg8_w0DddE4zGvPxSWimnflmUCDDhD6KeMiCFPzw/viewform?usp=dialog

② acef@acef.or.jp

③ 03-3208-1925

※②③の場合、「お名前」「連絡先」「参加希望日」「参加希望時間」を教えてください。

※定員に達し次第、申込み締切となります。

※恐れ入りますが、事務所までの交通費は各自ご負担ください。



② 10月3日（土）尊厳ファシリテーター養成講座Ⅴ

前回の講座では、身近にある本や漫画などを通して尊厳を考えました。第5回目となる今回は、「教育」をキーワードにして引き続き尊厳について、もう一步踏み込める学びを企画しています。お楽しみに！

③ 10月10日（土）ACEF秋のセミナー

毎年秋のお楽しみ、ACEF秋のセミナーが今年も実施されます。第一部では株式会社マザーハウス社員の方をお招きした企画、第二部では夏のスタディツアー報告会をACEF事務局の方で準備を進めておりますので、ぜひお楽しみに！

< ACEF事務局からのお知らせ >

①8月の事務局在室状況

スタディツアー終了後も柳原事務局長が現地に一週間ほど残るため、8月はしばらくの間対応が通常より遅くなる場合があります。ご不便をおかけしますが、順次対応いたしますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

② 2026年度夏期募金のお願い

2025年度の年次報告書が完成し、夏期募金のお願いと共に、会員と寄付者の皆さまにお送りしました（郵送ノメール添付）。今年度もバングラデシュの子どもたちの教育支援と日本の若者の育成を柱とした国際協力活動を続けていきたいと思ひます。今年も夏期募金へのご協力をお願いいたします。

※報告書類は、ACEFのホームページからもお読みいただくことができます。

【皆さまからのご寄付の活用方法】

- 学びを中断した子どもたちへの復学支援や補習授業の実施
- 日本の学生が現地を訪れ、共に学び合うスタディツアーの実施
- 現地教員への研修や教材支援を通じた教育の質の向上
- バングラデシュのスラム地域・農村地域にある校舎の改修と整備
- 上記事業に関わるBDPスタッフ・教師の給与

◎郵便振替（会費）

記号・番号：00100-0-185540

加入者名：アジアキリスト教教育基金

◎郵便振替（寄付）

記号・番号：00110-1-515789

加入者名：アジアキリスト教教育基金

◎銀行口座

銀行・支店：三井住友銀行 高田馬場支店

口座番号：普通口座 4568618

口座名義：トクティエイカツドゥウグンアジアキリストキョウキョウキキ

銀行・支店：三菱UFJ銀行 高田馬場支店

口座番号：普通口座 1543149

口座名義：トクティエイカツドゥウグンアジアキリストキョウキョウキキ

◎クレジットカードで

も受け付けております。詳しくはWebサイトをご覧ください

<https://acef.or.jp/you-r-menu/donate/>

申し訳ございませんが手数料をご負担ください。



（特活）アジアキリスト教教育基金（ACEF）

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館26号室

tel 03-3208-1925 ◇ fax 03-6278-9180 ◇ <https://acef.or.jp/>

※事務局にスタッフ不在の場合もありますので、その場合は留守電にご用件を残していただければと思います。後日早めに事務局からご連絡いたします。メールニュースについてのご意見や配信停止はpublic@acef.or.jpまで（担当：出立）



ACEF公式SNSはココからフォロー
<https://linktr.ee/acef.ngo>